

令和5年度（2023）看護師の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

負担軽減項目	取組項目	新規 既設	具体的な取り組み	進捗状況
業務量の調整	時間外労働が発生しないような業務量の調整	既設	看護業務標準化の関する基準に基づき、夜間を含めて負担の多い部署の看護業務を支援する。	実施済み 引続き継続
看護職員と他職種との 業務分担	薬剤師による薬剤管理	既設	院外処方体制を維持し、薬剤師が病棟での服薬指導、持参薬管理や薬剤管理を担うことにより、医師及び看護師の負担軽減を図る。	一部実施済み 2023年度も継続
	リハビリ診療技師による患者の移乗及び運搬	既設	患者搬送に協力し、看護師や看護助手の負担を軽減する。	実施済み 引続き継続
	生体・微生物検査システム導入による業務改善	新規	生体・微生物検査システムを導入する事により、関係部署の負担軽減を図る。（心電図の紙運用廃止など）	進行中/検討中
	臨床検査技師による検査	既設	臨床検査技師が検査を行う事により、関係部署の負担軽減を図る。（POCT検査、心電図等のポータブル検査、標準聴力検査など） 超音波検査業務の拡大（耳鼻科、皮膚科領域、表在、甲状腺領域など）	実施済み 引続き継続
	臨床検査技師による検査場所への誘導や検査情報の提供	既設	患者搬送に協力し、看護師や看護助手の負担を軽減する 検査情報の提供を関係部署にこまめに発信する事により、看護業務を支援する。	実施済み 引続き継続
	放射線技師による紹介CDの取扱い	既設	外来で行っていたCDのウイルスチェック業務を放射線科で行う	進行中 2023年度から新規
	管理栄養士による入院時の食事の聞き取り	既設	管理栄養士が患者又は家族に食事の聞き取りを行うことで、入院時の食事提供が円滑に運べ、入院看護業務に専念できる。	進行中 2023年度から新規
	入院手続業務	既設	入院案内等各種手続きを事務職が行なうことで、看護師が本来の看護業務に専念できる体制を整備する。	実施済み 引続き継続
退院調整業務	既設	各病棟に1名の社会福祉士を配置し、退院調整看護師とも連携し対応する。	進行中	
看護補助者の配置	看護補助者配置	既設	病棟に配置し、検査や医療器具の準備などの業務を行なう事で、看護師が本来の看護業務に専念できる体制を整備する。	進行中
多様な勤務形態の導入	多様な勤務形態の導入	既設	パート・時短勤務等多様な勤務形態を導入している。	実施済み 引続き継続
妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	夜間勤務及び職員配置に対する柔軟な取組	既設	職員の意向を考慮して、夜勤免除や配置転換、時短勤務などの対応を行なっている。	実施済み 引続き継続
夜勤負担の軽減	月の夜勤回数の上限定	既設	連続夜勤回数と夜勤の間隔、夜勤後の休日などに配慮した勤務表を作成している。	実施済み 引続き継続
夜間における看護業務の負担軽減	暦日の休日の確保	既設	暦日の休日は完全に確保して勤務予定表を作成している。	実施済み 引続き継続
	早出・遅出等の柔軟な勤務体制の工夫	既設	柔軟な勤務体制を図り、労働環境の改善に努める。	実施済み 引続き継続
	看護補助者の確保と定着促進	既設	看護補助者比率5割以上を確保する。	実施済み 引続き継続
年休取得率の向上	年休取得率の推進	既設	5日間の完全取得と4日間の夏休み（連続取得の推奨）に務める	進行中

